

# 逗子の景観まちづくり

## 瓦版 第三十七号

平成二十七年三月十三日

編集 逗子市環境都市部まちづくり課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百字以内の景観に

関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり課 瓦版係」

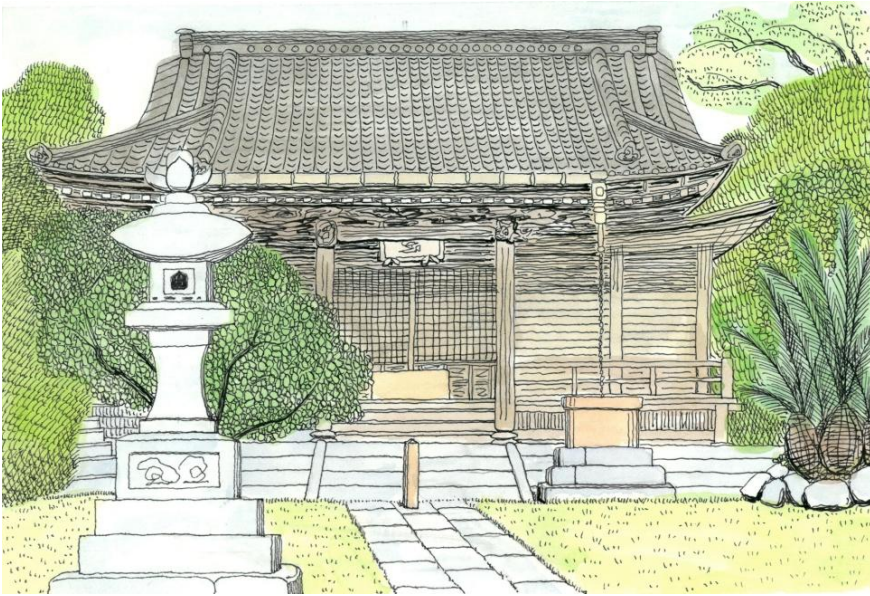
電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

[machi@city.zushi.kanagawa.jp](mailto:machi@city.zushi.kanagawa.jp)

### 「逗子を見守ってきた山」

逗子では定番になっているハイキングコースの一つ、名越切り通し。鎌倉への入り口、あるいは鎌倉からの出口として、一年を通してハイカーが急な坂道を歩いて行く。



「法性寺にある祖師堂」

現在こそ逗子側のバス通りから広い舗装路が山の中へ続いているが、この道ができたのはつい最近。昔のメインストリートは鎌倉側からの道で、この山に入るのは一苦労だったことが伺える。鎌倉側からこの道へ入ると、生い茂るシダ植物が迎えてくれる。この辺りは今も谷戸の地形を残しているが、かつては沢もあったようだ。夏にはひんやりと心地よい空気に包まれる。

岩肌むき出しの狭い上り坂を登っていくと、切り通し、大切岸といった中世の貴重な史跡を眺めながら歩くことができる。大切岸を見る頃には、ハイキングコースの頂上、お猿島へと到着する。細長い山の上には山王様という山の神様が祀られており、この山が人々の信仰の対象であったことが分かる。

山王社の山からは逗子の街が一望できる。そこから逗子側にあるのが、鎌倉時代に活躍していた日蓮聖人の弟子、日朗上人のお墓と、そこを護るために建てられたお猿島法性寺。かつて人々は、鎌倉中心部の喧騒を離れこの山道を登り、頂上にある山王社、法性寺にお参りしていたのであろう。春には山桜、初夏の新緑、夏には濃い緑、秋には紅葉と、一年を通して自然を楽しめる山である。目まぐるしく変わっていく街並みからはずれ、変わらない景色であって欲しいと願う山である。



「山王様の山から逗子を望む」

文 高作 玄晃  
絵 竹林 久知

# みんなで景観を考えよう！

景観と安全はつながっている

～ずし減災大学を開催して～

三浦半島活断層調査会会員

木村玲子

三浦半島活断層調査会は、2011年3月、逗子市協働事業提案制度による「ずし減災大学（自然災害から身を守る）」を提案し、逗子市経営企画部防災課との協働事業を3年にわたって行いました。

1年目は、小学生を対象に地形図を学習し、逗子小学校周辺の地震や津波の時の危険箇所を調べ、ハザードマップを作りました。2年目は、大人も加わり「小坪の津波絵図」（近藤紫雲作）と「1万分の1地形図（大正10年測量）」を持って、小坪を歩き、「津波ここまで来たマップ（関東大震災）」を作りました。91年前の関東大震災の時、小坪には7～8mの津波が来ていたことがわかってきました。今年、小坪・逗子・久木地区の3カ所で自然災害から命を守る「一日体験教室」を開催し、昼食は災害非常食を作って食べて、午後は「減災新聞」を作りました。

こども達からは、「住宅街の狭い通学路には、古くて高いブロック塀が続いて怖い」、「避難路になっている道路には倒れてきたら危険な電信柱が多い」、「地震のときに崩れてきそうな崖がある」、「高台の避難場所に続く山道は、地元の方が階段やベンチを作ってくれて登りやすい」、「小坪には、古い井戸が多いので、いつでも使えるようにしたい」、「より高いところの空き地や公園も快適にして避難場所にしたい」など沢山の意見が出されました。

「ずし減災大学」で市民の皆さんと地震や津波の危険箇所を見て歩いたことで、「景観まちづくり」には、「安心・安全」の観点も大切なことだと感じました。



大正震災画集第3集「震後津浪襲来 逗子小坪所見」

(近藤紫雲作)

「…その浪音に脅へながらヒタ走り走って、この難を脱かれた。その當時を思ひ起こしつゝ認めたので…」

(東京都慰霊堂協会 状況絵画展示)

※この絵画は進藤國昭様より提供されたものです。

～おたくのキャンバンは大丈夫？～

## 屋外広告物の点検のお願い

平成27年2月15日、札幌市にてビルの看板の一部が落下し、近くを歩いていた女性に当たるという重大な事故が発生しました。同様の事故の再発防止のため、屋外広告物を掲出、管理している場合は、掲出中の屋外広告物の安全性について再点検をお願いします。また、倒壊・落下等のおそれがあるものについては、速やかに撤去・改修等の適切な措置を講じるようお願いいたします。

瓦版の編集担当は 逗子市環境都市部まちづくり課♪

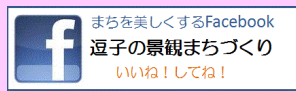
電話：046-873-1111 FAX：046-873-4520

Mail：[machi@city.zushi.kanagawa.jp](mailto:machi@city.zushi.kanagawa.jp)

逗子の景観まちづくり

検索

クリック！



瓦版に掲載する  
逗子の景観コラム、  
イラスト募集中！！



☆瓦版のバックナンバーは逗子市ホームページまたはフェイスブックからも閲覧できます。また、逗子市庁舎一階、まちづくり課窓口、市民交流センターに配架しています。他のナンバーも是非ご覧ください。